

野菜や花の直売会を開催

9月2日、JCHO秋田病院において、生物資源系列の2年生4人が農産物の直売会を開きました。

能代西高農場で育てられた枝豆やかぼちゃ、じゃがいもなどの他に花なども販売しました。毎年行っているということで、病院を訪れた人はもちろん病



→販売された商品の数々



院の先生からもお買い上げいただき、開始から約20分で完売となりました。生徒たちは、農産物の品種や特徴を、訪れた方々に説明しながら販売を行っていました。

この取組は、農産物の栽培から販売までを行うことで、6次産業化への理解を深め、経営感覚を兼ね備えた農業者の育成を図ることを目的にしています。

今回参加した生徒からは「たくさんの方が買いに来てくれてうれしかった」、「人と触れ合えてとても楽しかった」という感想が聞かれました。お客さんからは「頻繁にやってもらいたい」という要望も出るなど大盛況の直売会となりました。



農業鑑定競技会で優勝

→見事優勝に輝いた藤田さん



教科の学習や学校農業クラブ活動で得た農業に関する知識・技術の成果を鑑定・判定・診断・審査技術にわたり、その実力を競い合い、職業的な能力を高めることを目的とした農業鑑定競技会が8月10日に秋田県立大学大瀧キャンパスで開催されました。

能代西高校からは3年生の男子2人、女子2人が参加し、それぞれ「農業部門」と「畜産部門」に出場しました。

このうち、畜産部門に出場した総合学科の藤田典花さんが、18人中1位で見事優勝しました。藤田さんは「1問ごとに制限時間がある試験なので、時間内に解けるよう夏休みの間一生懸命勉強しました。全国大会でも上位入賞を目指して、授業はもちろん大会に向けての勉強も頑張っています」と意気込みを話してくれました。藤田さんは、10月26日に大阪府で開催される日本学校農業クラブ全国大会に秋田県代表として出場します。